教育課程　１道３

第１学年○組道徳指導案

平成２８年　　月　　日（　曜）第　時限

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導者　○○○○

１　主　題　　勇気〈Ａ－⑤希望と勇気・努力と強い意志〉

２　資料名　　おんがくかい（出典　あかるいこころ）

３　主題設定の理由

1. ねらいとする価値について

よいことや正しいことを行うことは、よりよく生きるために、重要である。しかし、実際は、正しいとわかっていても、なかなか行動に移すことができないことが多い。自分はよいと思っていても、周りの友達がどう思うかが心配で、自信をもつことができないためである。

やってよいことと、してはならないこととをしっかりと区別し、正しいと判断したことを進んで行う力、その原動力が勇気である。自分が正しいと判断したこと、自分がやるべきことに、自信をもって取り組むことができる態度を育てたい。

1. 児童の実態について

本クラスの児童は、自分の思い通りにしたいという気持ちが強い傾向にある。しかし、一方で、自分の思い通りに物事が進まないと、引っ込み思案になったり、ものおじしたりする。また、周りの友達にどう思われるのか、恥ずかしいという気持ちから、悪いことを悪いと言ったり、正しいことを勇気をもって推し進めたりすることがなかなかできない。そして、いけないとわかっていても、つい一緒に行ってしまうことが度々ある。

このような時期の児童には、よいと思ったことは、遠慮しないで進んで行おうとする気持ちを育てることが大切である。

1. 教材について

音楽会の司会であるりすが、静かにならないきつねを注意したが、聞いてもらえず、どうしようか迷い、くじけそうになる。しかし、周りの動物たちの困っている様子に気付いて、思い切ってもう一度注意したところ、きつねが静かになり、音楽会を始めることができたという話である。

くじけそうだったがもう一度注意した、りすの決意の行動と、注意してよかったという達成感を共有することから、よいと思ったことを勇気を出して行うことのよさや大切さを感じさせることができる。また、注意を聞かないきつねの勝手な行動も考えさせることができる教材である。りすやきつね、周りの動物たちに対して、言いたいことを発表し、話し合うことで、よいと思ったことを勇気を出して行うことのよさや大切さを感じ、実践しようとする意欲を育てたい。

４　ねらい

◯　くじけそうだったが、自分がやるべきことを勇気をもって行った主人公りす。その主人公の気持ちや行動に対して共感したり批判したりすることを通して、よいと思ったことは勇気をもって進んで行おうとする意欲を育てる。

５　準　　備　（教）フラッシュカード 名前プレート

　　　　　　　（児）授業後アンケート

６　指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学　習　活 動（主な発問と予想される児童の反応） | 指導上の留意事項 |
| 方向付け(5) | １　日常生活の中から、困ったときの経験を発表する。△ 友達と遊んでいて、困ったなと思ったことはありませんか。* 友達とけんかしたとき。
* チャイムが鳴っても遊ぶのを止めなかったとき。
 | * 日常生活の中から、困った経験を想起させ、ねらいへの方向付けと、本時の話し合いへの意欲を高める。
 |
| 価値の追求把握 ・ 自己の生き方の自覚(32) | ２　資料について、話し合う。1. 「りす」「きつね」「周りの動物たち」の言動に対して言いたいことを発表する。

○り す* + 司会の役割なのだから、初めからしっかりきつねさんに注意しなきゃいけないよ。
	+ りすさん、すごい！めげそうだったけど、きつねさんによく注意できたね。
	+ がんばって注意して、発表会ができて良かったね。
	+ りすさんの気持ちがよく分かる。自分も、きっと注意できないと思う。

○きつね* 自分勝手に、いつまでも練習してちゃだめだよ。
* りすさんが司会だから、司会の人が止めてくださいって言ったら、やめなきゃだめ。

○周りの動物達* りすさんだけに任せないで、自分達もきつねさんに注意すればいいのに。
1. 何が大切だと思ったか、また、その理由を発表する。

ア＝みんなが困るから、司会のりすさんがきつねさんに注意しなくてはいけない。イ＝注意するのはいやだけど、勇気を出して注意できてよかった。りすさん、すごい。ウ＝周りの動物たちも、困っていたら、自分から注意すればいい。▲「駄目だよ」って注意するの、恥ずかしくありませんか。理由も言いましょう。* 誰かが「駄目だよ」って注意しないと、みんなが困る。恥ずかしくても勇気を出して注意しなきゃだめ。
* 恥ずかしくない。言える。
* 恥ずかしくて、やっぱり言えない。だから、りすさんはすごいと思う。
* 勇気を出すのは恥ずかしい。だけど、少しでもりすさんみたいにしたいと思う。
1. 日常生活を振り返り、勇気を出して行動して、よかった経験を話し合う。
* 廊下を走っていた友達に、思いきって注意したら、走るのをやめた。
* けんかをした時、自分から思いきって「ごめんね」と言って、仲直りができた。
 | * 教師の語りで資料を提示する。
* 登場人物それぞれに対する思いを、素直に出させる。
* 児童の発言を整理しながら、板書する。
* 発言した児童の名前プレートを貼る。
* 児童から意見が出にくい時は、「こういうのもあっていいよ」と言ってヒントを出す。
* いろいろな視点から、意見を出させる。
* 考えがもてた児童から起立させる。
* 同じ意見だった場合は、着席していく。
* さまざまな考え方の中から、自分が特に大切だと思えることを話し合わせる。
* 大切だと思う考え方を選ばせる。
* まだ、自分の考えをはっきりさせていない児童には、名前プレートを黒板に貼らせ、自分の考えを明らかにさせる。
* 理由を述べたりすることで、互いの価値観を高めるとともに、自己の価値観の自覚を深める。
* 恥ずかしいか恥ずかしくないかの意思表示を全員に確認する。
* 身近な経験から、その時の自分の気持ちも含めて、できるだけ具体的に発表させる。
* 行動した後の達成感や安堵感を想起させ、次への意欲を高める。
 |
| まとめ(8) | ３ 教師の話を聞く。* 児童の日常の中で見つけた行為か、教師の経験を話す。
* 授業後アンケートを書く。
 | * よいと思ったことを、勇気を出して行動したら、周りが和やかになった話を聞く。
 |

７ 評 価

くじけそうだったが、自分がやるべきことを勇気をもって行った主人公りす。その主人公の気持ちや行動に対して共感したり批判したりすることを通して、よいと思ったことは勇気をもって進んで行おうとする意欲が育ったか。

＜授業前＞ ＜授業後＞

○ いけないことだと思ったら、勇気を出してやめるようと言う。

○ よいと思ったら、勇気を出して行おうとする。

○ いけないことだと思っても、言いだすことができない。

○ よいと思ったことでも、勇気を出して行うことができない。

じゅぎょうのあとで《アンケート》

□ いまの じぶんは どれに あてはまりますか？

りすさん （ 　 ）

きつねさん （ 　 ）

まわりの どうぶつたち （ 　 ）

□ これから どうなって いきたいですか？

りすさん （ 　 ）

きつねさん （ 　 ）

まわりの どうぶつたち （ 　 ）

□ どうして そう おもいますか？

みなさんから いいこと たくさん おしえてもらいました。ありがとう*！*